



## 3. 主要事業の概要

## 【事業規模(道路事業収入)】

(単位:千円)

事業名	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度		令和6年度 当初予算	備考
			当初予算	実績		
① 箕面有料道路事業	1,644,427	1,894,960	1,762,286	1,810,029	1,708,684	箕面有料道路の料金徴収及び維持管理
全事業合計に占める割合	61.4%	85.3%	83.0%	84.0%	62.2%	
② 鳥飼仁和寺大橋有料道路事業	678,432	300,294	320,045	336,591	332,185	鳥飼仁和寺大橋有料道路の料金徴収及び維持管理
全事業合計に占める割合	25.3%	13.5%	15.1%	15.6%	12.1%	
③ ①～②以外の事業	354,089	26,947	40,937	9,028	707,145	受託事業
全事業合計に占める割合	13.2%	1.2%	1.9%	0.4%	25.7%	
全事業合計	2,676,948	2,222,202	2,123,268	2,155,648	2,748,014	

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

## 【事業計画及び事業実績】

事業名	事項	事業量			備考
		令和5年度計画	令和5年度実績	令和6年度計画	
有料道路事業					
①箕面有料道路事業	箕面有料道路管理業務	11,000台/日	11,179台/日	11,000台/日	
②鳥飼仁和寺大橋有料道路事業	鳥飼仁和寺大橋有料道路管理業務	10,200台/日	10,181台/日	10,200台/日	
③その他事業(受託事業)	府道八尾茨木線道路管理業務等	3件	2件	2件	

大阪府道路公社

4. 大阪府の財政的関与の状況

(単位:千円)

区 分	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度		令和6年度 当初予算	補助金、委託料等の内容
			当初予算	実績		
補助金	0	0	0	0	0	
委託料	44,476	26,948	40,937	9,029	708,279	
(内訳)						
府道八尾茨木線道路管理業務 (随契)	3,137	3,765	5,936	3,611	6,360	鳥飼仁和寺大橋有料道路に接続する府道八尾茨木線の道路管理業務
府道八尾茨木線耐震設計業務 (随契)	41,339	23,183	6,662	5,418	0	鳥飼仁和寺大橋有料道路にかかる耐震補強設計業務
府道八尾茨木線耐震補強工事業務 (随契)	0	0	28,339	0	701,919	鳥飼仁和寺大橋有料道路にかかる耐震補強工事業務
貸付金	0	0	0	0	0	
その他(分担金・負担金・出捐金等)	241	933	1,290	1,103	1,250	
地方共済組合同体共済部地方公共団体負担金 (負担金)	241	933	1,290	1,103	1,250	
合 計	44,717	27,881	42,227	10,132	709,529	

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
府損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	2,791,667	1,900,833	1,036,429
府借入金残高(期末)	888,750	593,250	318,750

## 5. 財務状況

(単位:千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比増減	分析・評価
貸借対照表	<b>資産合計</b>	88,140,750	87,700,294	87,318,282	△ 382,012	
	流動資産	23,634,998	23,194,703	22,812,605	△ 382,098	(現金預金) 現金預金の減少については、長期借入金の償還(1,139百万円)が主な要因である。
	現金預金	23,134,081	22,852,662	22,504,342	△ 348,320	
	未収金	500,887	339,460	306,858	△ 32,602	
	その他流動資産	31	2,581	1,405	△ 1,176	
	固定資産	64,505,752	64,505,591	64,505,677	86	(未払金) 未払金の増加については、箕面有料道路事業費の増(71百万円)が主な要因である。
	道路資産	64,498,400	64,498,400	64,498,400	0	
	有形固定資産	613	452	538	86	
	無形固定資産	0	0	0	0	
	その他固定資産	6,739	6,739	6,739	0	(長期借入金) 長期借入金の減少については、定時償還による政府借入金の減(864百万円)及び大阪府借入金の減(275百万円)が主な要因である。
	<b>負債合計</b>	33,914,731	33,474,275	33,092,263	△ 382,012	
	流動負債	310,004	123,635	186,511	62,876	(道路事業損失補填引当金) 道路事業損失補填引当金の増加については、継続2路線の消費税を除く道路料金収入の12%(233百万円)の積立が主な要因である。
	短期借入金	0	0	0	0	
	未払金	308,205	121,485	185,498	64,013	
その他流動負債	1,798	2,150	1,013	△ 1,137		
固定負債	3,680,417	2,494,083	1,355,179	△ 1,138,904	(償還準備金) 償還準備金の増加については、継続2路線の収支差益(507百万円)の積立によるものである。	
長期借入金	3,680,417	2,494,083	1,355,179	△ 1,138,904		
特別法上の引当金等	29,924,311	30,856,557	31,550,574	694,017		
道路事業損失補填引当金	19,203,057	19,375,153	19,562,188	187,035		
償還準備金	10,721,253	11,481,405	11,988,386	506,981		
<b>資本合計</b>	54,226,019	54,226,019	54,226,019	0		
資本金	50,016,919	50,016,919	50,016,919	0		
剰余金	4,209,100	4,209,100	4,209,100	0		

損益計算書	有料道路事業収入	2,322,859	2,195,255	2,146,620	△ 48,635	(有料道路事業収入) 有料道路事業収入の減少については、箕面有料道路の交通量が前年度比で約5.1%減となったことによる箕面有料道路事業収入の減(85百万円)が主な要因である。
	受託事業収入	354,089	26,947	9,028	△ 17,919	
	<b>収益</b>	2,676,948	2,222,202	2,155,648	△ 66,554	
	有料道路事業費(特別法上の引当金等繰入額を除く)	1,332,308	1,009,906	1,209,675	199,769	(有料道路事業費) 事業費の増加については、箕面有料道路における電話設備更新工事(108百万円)の実施等が主な要因である。
	受託事業費	335,390	25,563	8,566	△ 16,997	
	管理費	179,241	187,984	197,833	9,849	
	道路事業損失補填引当金繰入額	214,416	238,598	232,593	△ 6,005	
<b>費用</b>	2,061,356	1,462,051	1,648,667	186,616		
償還準備金繰入額	615,592	760,151	506,981	△ 253,170		

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

大阪府道路公社

(単位:千円)

仕組債の保有状況	保有総額<令和5年3月31日時点>	保有総額(A)<令和6年3月31日時点>	時価評価額(B)<令和6年3月31日時点>	保有総額と時価評価額差(B)-(A)
	0	0	0	0

主な経常費用	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比増減	分析・評価
役員人件費	19,077	19,082	19,463	381	(職員人件費) 職員人件費の増加については、常勤リーダーの増(1名)及び給与改定による支給額の増が主な要因である。
職員人件費	180,767	182,760	190,653	7,893	
退職給付費用	0	0	0	0	
減価償却費	515	269	258	△ 11	

主要経営指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比増減	分析・評価	
人件費比率	人件費/売上高	7.5%	9.1%	9.7%	0.6%pt	(流動比率) 流動比率の減少については、現預金の減少等に伴う流動資産の減(382百万円)と、貸付有料道路事業費の増等による流動負債の増(63百万円)が主な要因である。
販売管理費比率	販売費及び一般管理費/売上高	6.7%	8.5%	9.2%	0.7%pt	
総資産当期利益率	償還準備金繰入額/総資産	0.7%	0.9%	0.6%	-0.3%pt	
総資産回転期間	総資産/(売上高/12)(月)	395.11	473.59	486.08	12.49	
売上高経常利益率	償還準備金繰入額/売上高	23.0%	34.2%	23.5%	-10.7%pt	
流動比率	流動資産/流動負債	7624.1%	18760.6%	12231.2%	-6529.4%pt	
借入金比率	借入金残高/総資産	4.2%	2.8%	1.6%	-1.2%pt	

## 6. R5年度 経営目標の達成状況

I. 最重点目標(成果測定指標)								
戦略目標	成果測定指標	単位	R4実績値	R5目標値	R5実績値 (※1)	ウエイト	得点 (※2)	小計 (※3)
③ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額	億円	149.0	152.0	156.4	45	45	45/45 【100%】
II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)								
① 安全・安心で快適な道路サービスの提供	管理上の瑕疵に起因する事故件数	件	0	0	0	10	10	21/30 【70%】
② 利用者の利便性増進	鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率	%	17.0	25.0	18.4	10	1	
	利用促進策等の効果的な情報発信	項目	7	7	7	10	10	
III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)								
④ 法人経営の効率化、組織体制の見直し	コスト縮減額	百万円	12	15	17	10	10	25/25 【100%】
	職員定数	人	22	22	22	15	15	

※1 網掛けは目標達成項目。

※2 目標値が前年度実績以上の場合、当該年度の実績値が目標値に到達しないときでも、達成状況に応じて加点を行う。

※3 小計の【 】は得点率。

## 7. 法人による評価結果

法人の総合的評価結果	点数(合計)
<p>道路公社は、道路整備特別措置法に基づき、道路管理者である大阪府知事の同意及び国土交通大臣の許可を得て、府の出資金や国の貸付金、市中銀行等からの借入金により、道路整備・管理を有料道路事業として実施しており、定められた料金徴収期間に通行料金収入で建設借入金を償還することが最重点の経営目標である。</p> <p>2022年3月に策定した「中期経営計画【チャレンジ2024】(2022年度～2024年度)」に基づき、効率的・効果的な維持管理によるコスト削減の取り組みを実施するとともに、近畿圏の5道路公社共同での利用促進策や箕面有料道路の利便性、鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETCについて効果的に情報を発信し、最重点目標である「償還準備金等積立額」の目標を達成した。</p> <p>鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率は目標値を未達成ではあるが、他の成果測定指標である管理瑕疵に起因する事故件数については、管理路線を適正な状態に保ち、日常の施設点検業務を適切に実施することにより0件で、コスト削減については、維持管理方法を工夫するとともに管理水準の見直しにより、目標値を達成した。</p> <p>2024年度においては、2023年度に達成できなかったネットワーク型ETC利用率の目標値の達成と中期経営計画の基本方針である安全・安心で利便性の高い道路サービスを利用者へ提供するとともに、コスト削減に取り組むことで建設費の着実な償還を推進する。</p>	91

## 8. 府の審査・評価の結果

審査の結果	経営状況、事業の実施状況その他の事項に関する府の評価結果及び指導・助言	点数(合計)	役員業績評価
<p>・「鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率」については、目標値に達成できなかったものの、その他成果測定指標については、目標値を達成している。</p> <p>・最重要目標である建設費の計画的な償還については、引き続き、維持管理費のコスト縮減に取り組むとともに、利用促進を図り、建設費の着実な償還を推進する必要がある。</p> <p>・「鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率」については、未達成の要因分析を踏まえ、目標達成に向けて取り組んでいく必要がある。</p> <p>・安全・安心で快適な道路サービスの提供については、引き続き、道路施設等の点検を充実させ、計画的な維持管理に取り組む必要がある。</p>	<p>(評価)</p> <p>・「コスト縮減額」及び「管理上の瑕疵に起因する事故件数」の目標を達成しており、法人経営の効率化を図りながら、利用者への安全・安心な道路サービスの提供を行っている点は評価できる。</p> <p>・「償還準備金等積立額」については目標を達成しているものの、引き続き、維持管理費等のコスト縮減に取り組むとともに、利用促進を図り、建設費の着実な償還を推進する必要がある。</p> <p>(指導・助言)</p> <p>・未達成となった「鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率」については、利用頻度の少ない利用者にもネットワーク型ETCを利用してもらいやすい環境を整えるなど、利用率向上に向けた取組みを行うこと。</p> <p>・建設費の着実な償還のため、利用促進につながる効果的な情報発信や更なる収益の改善の取組みに努めること。</p> <p>・利用者の視点に立った近畿圏高速道路の料金一元化を実現するため、引き続き箕面有料道路の早期移管に向けた取組みを推進すること。</p> <p>・令和9年に鳥飼仁和寺大橋が料金徴収期間満了を迎えるため、次期中期経営計画の策定にあたっては、公社を取り巻く環境の変化やこれまでの取組実績を踏まえて、成果測定指標や目標値の検討を行うこと。</p>	91	A

## 9. 「令和6年度大阪府行政経営の取組み」における方向性(令和6年2月)

- 抜本的見直し
- ・引き続き、利用促進、経費節減による収支改善に取り組むなど、建設費の計画的な償還に努める
  - ・利用者の視点に立った近畿圏高速道路の料金体系一元化の実現に向け、検討が進められる新御堂筋の機能強化の内容も踏まえ、箕面有料道路の高速道路会社への早期移管をめざす
  - ・また、路線移管後の会社のあり方について、検討を進める



## 10. 経営目標設定の考え方

### ミッション

- 安全・安心で利便性の高い道路サービスの提供
- 建設費の計画的な償還
- 早期移管につながる取り組み
- 大阪府の施策
- 大阪府都市整備中期計画「大阪・関西のさらなる成長に必要なインフラの強化」
  - ・道路ネットワークの機能強化
- ・利用者にとって公平で分かりやすくかつ渋滞を緩和し、利用しやすい高速道路料金体系の実現

### 基本方針

- 1 平常時・非常時を問わず機能を失わない安全・安心な道路
  - ・お客様に24時間365日、安全で安心できる道路サービスの提供
- 2 道路ユーザー等の生産性・快適性が向上するスマートな道路
  - ・ETC技術を活用し、更に利便性の高い道路サービスの提供
- 3 社会環境の変化やインフラの老朽化に対応できる持続可能な道路
  - ・時代の変革に対応した組織体制の見直しや人材育成により、持続可能な道路サービスの提供

### 戦略目標と成果測定指標【中期経営計画上の目標値】

#### ① 安心安全で快適な道路サービスの提供

- ・管理上の瑕疵に起因する事故件数

#### ② 利用者の利便性増進

- ・鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率
- ・利用促進策の効果的な情報発信

#### ③ 建設費の計画的な償還

- ・償還準備金等積立額  
【139.0億円(R3実績)→161.6億円(R6)】

#### ④ 法人経営の効率化、組織体制の見直し

- ・コスト削減額  
【21百万円(R3実績)→78百万円(R6)】
- ・職員定数  
【25人(R3実績)→20人(R6)】

11. R6年度 目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	単位	R4実績値	R5実績値	R6目標値	ウェイト(R6)	中期経営計画最終年度目標値(R6)
③ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額	億円	149.0	156.4	159.4	45	161.6
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)							戦略目標達成のための活動事項
最重点とする理由、経営上の位置付け	<p>○ 道路公社は、道路管理者に代わって、府の出資金や国の貸付金、市中銀行等からの借入金により、道路整備・管理を有料道路事業として実施しており、定められた料金徴収期間に通行料金収入で建設費を償還し、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引継ぐことになる。</p> <p>○ 従って、建設費を着実に償還することが道路公社における事業の根幹であり、総合的な指標である「建設費の計画的な償還(償還準備金等積立額)」を最重点の経営目標とする。</p>						<p>中期経営計画(2022～2024)及びお客様サービス向上戦略に基づき、以下の取組みを進めることにより、建設費の着実な償還を推進する。</p>
最重点目標達成のための組織の課題、改善点	<p>○ 管理路線を適正な状態に保ち、安全・安心で利便性の高い道路サービスを提供するためには、責任ある道路の維持管理(道路施設や設備の定期的な点検、補修や更新などの対策)が必要となるが、無計画で場当たり的な維持管理では、多大な費用と時間が必要となる。</p> <p>○ 国の将来予測によると、自動車交通量(走行台・キロ)は減少傾向にあり、そういう状況の中で、管理路線を利用する交通量を確保し、安定的な収入の確保が必要となる。</p>						<p>①コスト削減の具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○維持管理方法の工夫、管理水準の見直しを実施</li> </ul> <p>②利用促進の具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥飼仁和寺大橋有料道路に導入したネットワーク型ETCの利用率向上を目指したキャンペーン実施</li> <li>○イベント等での利便性等のPR活動</li> <li>○観光協会等と連携した取り組み等をInstagram発信</li> <li>○商工会議所等と連携し、イベントの開催</li> <li>○YouTubeによる情報発信</li> <li>○会社のホームページやXでの情報発信</li> <li>○郵便局と連携したイベントの開催</li> </ul>
活動方針	<p>○ 2022年3月に策定した「中期経営計画(2022～2024)」に基づくとともに、時代の変革や急激な社会情勢の変化にも柔軟に対応できるよう以下の取り組みを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コスト削減の取組み 効率的・効果的な維持管理を実施するとともに、これにかかる維持管理費等について引き続き削減に取り組む。</li> <li>2 利用促進の取組み 商工会議所等とタイアップした取り組みを行い、その内容をソーシャルメディアを通じて発信するとともに、大阪府と連携し、集客施設やイベント等で情報発信を行い、各路線の知名度の向上と利便性の周知に努める。</li> <li>3 安全・安心で利便性の高い道路サービス提供に向けた取組み 「大阪府道路公社維持管理方針」に掲げるライフサイクルコストを考慮した予防保全の考え方に基づき、効率的・効果的な維持管理を推進するとともに、事故・渋滞対策の推進、利用者ニーズ、社会情勢の変化を反映したサービス向上に努める。</li> </ol>						<p>③安全・安心で利便性の高い道路サービスの提供に向けた具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的な維持管理業務の着実な実施(防災・料金收受設備点検等)</li> <li>○計画的な維持管理(真面有料道路の防災設備更新工事等)</li> <li>○利用者ニーズを反映したサービス向上及び社会情勢の変化への対応〔鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率向上〕</li> </ul>

## II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	単位	R4実績値	R5実績値	R6目標値	ウエイト(R6)	中期経営計画最終年度目標値(R6)	戦略目標達成のための活動事項
① 安全・安心で快適な道路サービスの提供	管理上の瑕疵に起因する事故件数	件	0	0	0	10	—	お客様の通行の安全性向上を第一に考え、パトロール実施などにより、絶えず管理瑕疵に起因する事故の発生防止を図る。 道路構造物を常に良好な状態に保全し、構造物等施設点検の充実を図る。
② 利用者の利便性増進	鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率	%	17.0	18.4	25.0	10	—	ネットワーク型ETC導入の周知を図るため、料金所等での広報活動を実施すると共に、現金利用者に対する登録キャンペーン実施等のネットワーク型ETCへの転換を促進する検討を行う。
	利用促進策等の効果的な情報発信	項目	7	7	7	10	—	路線の知名度や利便性の周知が効果的に図られるよう利用促進策や路線情報をInstagramなどのSNSや広報誌などを活用して適切な時期に発信する。 ①ETCX利用促進キャンペーン実施 ②利便性PRチラシ配布 ③Instagram発信(観光協会などの連携) ④箕面市商工会議所と連携したイベント開催 ⑤YouTubeによる情報発信 ⑥XIによる情報発信 ⑦郵便局と連携したイベント開催

## III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 法人経営の効率化、組織体制の見直し	コスト縮減額	百万円	12	17	64	10	78	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し等によるコスト縮減の実施を継続。
	職員定数	人	22	22	21	15	20	中期経営計画策定時において考慮していなかった箕面有料道路の設備の故障による緊急発注などの業務が新たに生じたことにより、R6年度内は1人を削減することを目標とし、R7以降の更なる職員定数削減と人件費削減に向けて取り組む。 ※受託事業にかかる職員を除く

※ ( )は当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値